

和と文保との中間に記されてゐる。又寶永誌に、この村領にしんわう寺及び坊の館の跡があることを載せる。

フクドメ 福留 鹿島郡三室の内の小字。

フクトメシ 福留新 石川郡福留の内の小字。

フクトメノロクロザエモン 福留の六郎左衛門 石川郡福留の人。家傳に、文祿中初代六郎左衛門十に任せられ、二代六郎左衛門跡十村となつたとあるが、文祿に十村はまだないから何か誤傳があるだらう。二代六郎左衛門は寛永十八年歿し、翌年三代間兵衛跡十村となり、承應二年御扶持人並を以て選せられ、寛文元年持高の内一町二段十歩を拜領して御扶持人となり、二年歿。その弟四代間兵衛の時無組御扶持人となつた。

フクナガ 福永 石川郡山島郷に屬する部落。

フクネンジ 福念寺 金澤英町に在つて、眞宗東派に屬する。初め専藏坊と稱し、田丸町・高岡町上敷内にゐたこともある。

フクネンジ 福念寺 珠洲郡北方に在つて、眞宗東派に屬する。

フクノ 福野 羽咋郡堀松庄に屬する部落。古へは上福野・下福野の二村があつて、上福野は今の福野、下福野は今の大念寺であると傳へる。

フクノガタ 福野潟 羽咋郡福野の東北に在つた。寶曆の調書には、長さ五百五十間程、幅二百間程、福野・大念寺・末吉・米濱四ヶ村の入合潟であると記し、能登名跡志には、『福野の潟は一里に二里餘の昔は濁なりしに、今は所々閉き所出来て、小さき芦原に成りてあり。』とある。今は全く干拓せられてゐる。

フクノカミ 福の神 藩政の時正月初に来た藤内の物貰ひで、一名を大黒舞というた。蓑笠を着し、お多福面を顔の右側面に懸け、『御座つた〜。福の神が御座つた。福の神といふ人は、天竺の神なれば、一に俵をふんまへたり。二につこりと笑はれて、三つで皆様息災に、四つで世の中よいやうに、五つでいつもの如くなれ。六つで無量延命を、七つで何事ないうやうに、八つで屋敷を建てひろげ、九つこなたへをさまりて、十で徳はどつさり。』と唱へた。

フクノカンビヨウ 福野干瓢 羽咋郡福野に産する干瓢で、藩政の頃は名産とせられ、百姓助太夫之を藩侯に献上し、藩から幕府へも進納した。

フクバタケ 福昌 河北郡五ヶ庄に屬する部落。

フクビサ 福久 河北郡井上庄に屬する部落。

フクビサヤセツジヨウ 福久屋雪杖 金澤の俳人。石引町藥種商福久屋の家に生まれ、梅室に學び、初は蕙坊といひ、百鶴園九代・樗庵四代を繼いだ。後に破門せられ、明治以後小立野新坂の高に草廬を結び、或は他家に寄居し、その舉動一に狂人の如くであつたが、遂に上洛して舊師の墓前に陳謝し、去つて自決したと傳へる。

フクビギヨウ 武具奉行 御武具奉行の始は明らかでないが、正保二年窪田彌八郎が命ぜられ、寛文元年には、石黒瀬兵衛・小倉五兵衛・和田七右衛門・久津見半左衛門、六年には吉田七左衛門が命ぜられて以來連綿し、元祿年中以後は四人と成つた。

フクマス 福増 石川郡中村郷に屬する部落。寛文十年の村御印には上福増とする。寶永誌に、上福増村領に寢上館といふがあつて、寢上市左衛門の居跡であり、又西法寺・興淨寺の跡があると記されてゐる。

フクマスシヨウ 福益庄 陸涼軒日録に文正元年五月廿六日に、『赤松次郎知行加賀國福益庄、小笠原宮内少輔可遵行由、以清和泉守被仰出。』とある。今石川郡に福増・下福増がある。

フクマスヤハクウ 福増屋白烏 松任の俳人千代尼の養子。名は六兵衛。文化四年十月十七日歿。釋秀巖と諡した。

フクミツ 福水 羽咋郡邑仙院に屬する部落。能登名跡志に、『又福水村も公領也。飯山川の縁に有。此川中に金輪際に通じたるというて掘盡しがたき石有。水の上へ七八寸もはなれてあり。此石上に穴あり。夫より水湧き出づるなり。依て福水の名有。』とある。

フクミツジ 福水寺 羽咋郡福水に在つた。山號を丹治山といひ、眞言宗に屬してゐた。今團念坊などの字を残すものは、福水寺の坊中であらうかといふ。

フクミツノジン 福水の陣 弘治三年の岸來合戦の際、温井景隆・三宅長盛等が加賀の一向宗徒の援を得、兵三千を率ゐて福水に陣したといふことがある。又天正八年三月長連龍の越中の守山から討つて出た時にも福水寺（一に團念坊に作る）に陣し、八伏山・菱脇・佛性寺・小竹・東馬場の數城を陥れたとある。

フクラ 福浦 羽咋郡熊野方郷に屬する部落。古への所謂福良津である。↓ポツカイノ

ライチヨウ 渤海の來朝（四、壹萬福の漂着。十四、福浦の山水禁伐）。
フクラキリイシ 福浦切石 羽咋郡福浦小字めの浦から産する石材。殆ど輝石に近い輝石安山岩で、稍綠色を帯びた黝黑色の緻密堅固なものである。又福浦小字とやの山から産するものも福浦切石といはれ、輝石安山岩で一見黑色を呈するが、細粒狀黝黑色石基中に、微細なる斜長石と輝石とを含んでゐる。
フクラコウ 福浦港 羽咋郡福浦に在る。藻崎が中央に突出して、南に本淵一名大淵があり、北に水淵がある。大淵は長さ三六〇米、幅一八米乃至一四四米、水淵は長さ二七〇米、幅七二米乃至一〇八米。港口何れも西北に向かうてゐる。
フクラサルタヒコシヤ 福浦猿田彦社 羽咋郡福浦に鎮座する。社地に涌出する波除水は、波浪を鎮める効があるとして、水手等之を汲んで齋すものがあつた。八月の祭禮には、神輿船に乘じ、大淵から水淵へ神幸して、海上の安全を守護する例である。今猿田彦神社と稱する。
フクラツ 福良津 ↓フクラ 福浦。
フクラワカメ 福浦若和布 羽咋郡福浦の沿海に産し、殊に其の質良好であるため、古來福浦若和布の名が高かつた。
フクラレンジ 福蓮寺 鹿島郡田鶴濱に在つて、眞宗東派に屬する。
フクロ 袋 河北郡金浦郷に屬する部落。
フクロ 袋 鳳至郡仁行の内の小字。
フクロジヨウ 袋城 河北郡袋にあつた。寶曆の調書に、袋領山の内、村より東五町に古城跡があり、高橋七左衛門が之に居たと記